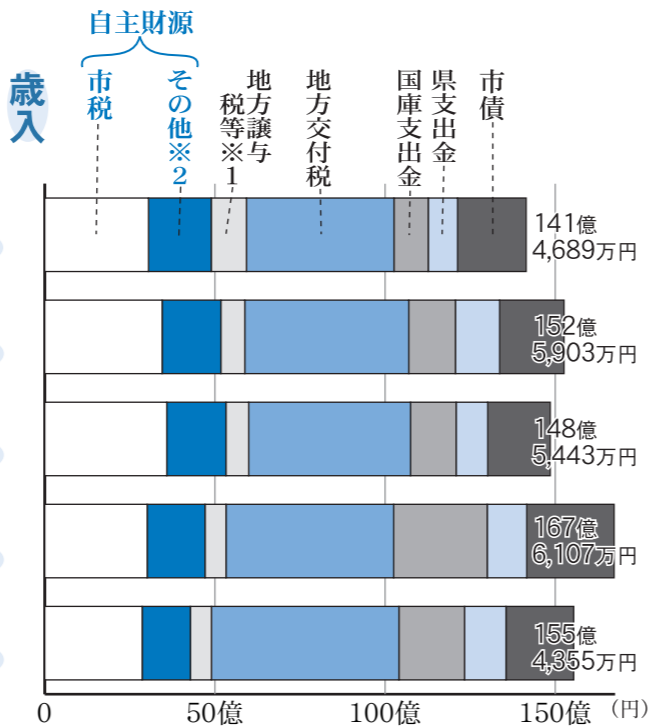
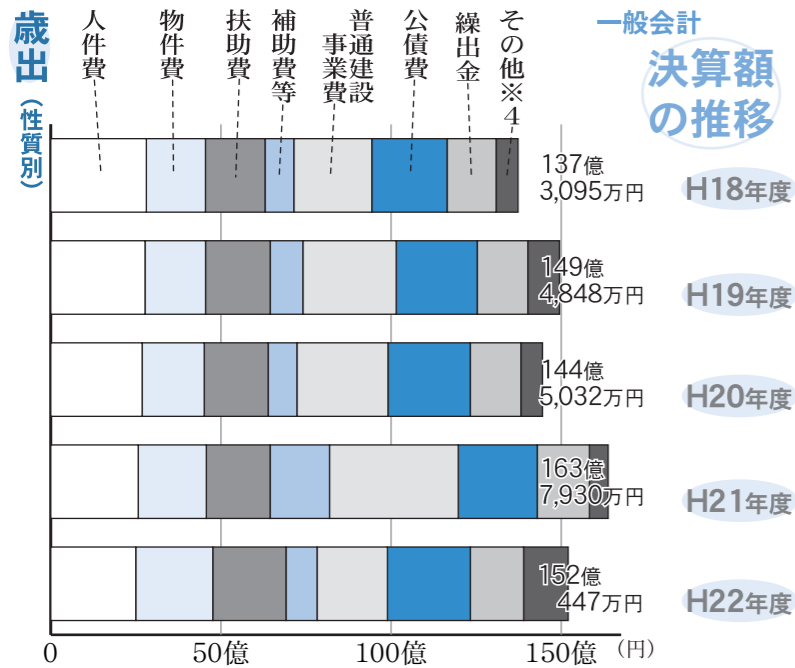


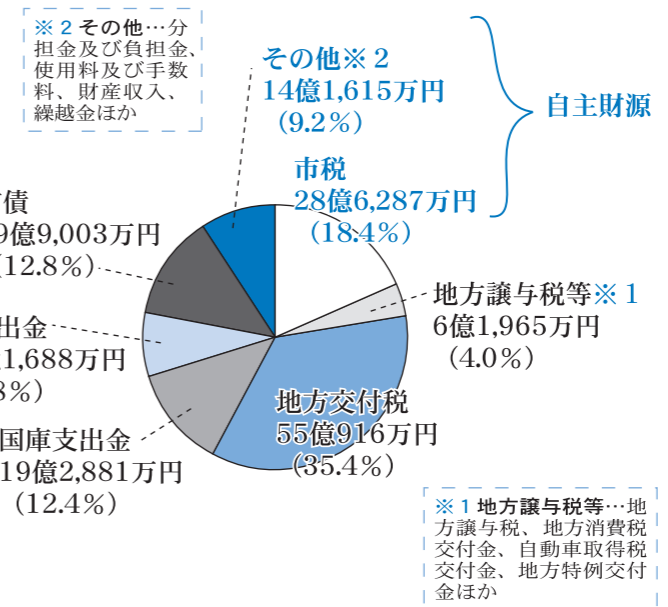
平成22年度 決算

先の議会で認定された
平成22年度にかほ市の
各会計決算じゃ！



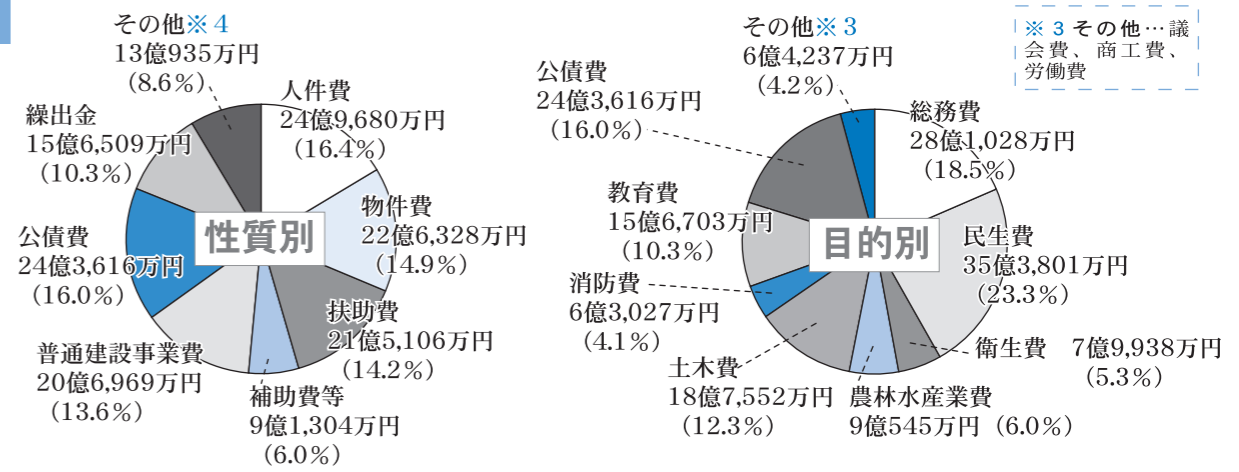
一般会計 歳入

155億
4,355万円
(12億
1,752万円減)



一般会計 歳出

152億
447万円
(11億
7,483万円減)



特別会計の歳入歳出

項目	歳入計	歳出計	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支額
国民健康保険事業勘定	3,142	2,845	0	297
国民健康保険施設勘定	80	67	0	13
後期高齢者医療	232	231	0	1
老人保健	4	4	0	0
簡易水道	217	214	0	3
公共下水道事業	1,772	1,738	9	25
農業集落排水事業	382	378	0	4
合計	5,829	5,477	9	343

企業会計の歳入歳出

項目	歳入計	歳出計
ガス事業	収益的	426
	資本的	163
水道事業	収益的	469
	資本的	331

※ガス・水道事業とも不足する額は、当年度分損益勘定留保資金などで補てんしている。

財政状況

【実質赤字比率】
普通会計（にかほ市では一般会計のみ）の赤字比率（家計に例えると年収に占める年間の赤字額の割合）

【連結実質赤字比率】
普通会計に、その他すべての会計（国民健康保険、ガス、水道など）を含めた連結ベースでの赤字比率

【実質公債費比率】
普通会計に、その他すべての会計、一部事務組合などの会計を含めた連結ベースで、公債費の財政負担を見るための比率。18%を超えれば起債の許可が必要となり、25%を超えれば単独事業の起債が制限される（家計に例えると年収に占める年間の借金返済額の割合）

【将来負担比率】
普通会計に、その他すべての会計、一部事務組合や、にかほ市観光開発株式会社（はまなす、ねむの丘）などの会計を含めた連結ベースで、一般会計が将来負担しなければならない、負債の財政負担を見るための比率（家計に例えると借金が年収の何年分に相当するかを示す割合）



財政状況を示す数値は、低いほど財政的には良好な状態なんじゃ。ただし、数値だけにとらわれて、行政サービスが低下してはならない！

健全化判断比率

	22年度	22年度早期健全化基準	21年度	20年度
①実質赤字比率	—	13.44	—	—
②連結実質赤字比率	—	18.44	—	—
③実質公債費比率	16.3	25.0	17.3	17.1
④将来負担比率	146.9	350.0	171.8	178.3

※①と②は、各年度とも実質収支が黒字なため「—」で表記

資金不足比率

会計名	22年度 (%)	事業規模 (千円)	経営健全化基準
ガス事業会計	—	394,241	事業規模の20.0%
水道事業会計	—	443,047	
簡易水道特別会計	—	27,166	
公共下水道事業特別会計	—	208,631	
農業集落排水事業特別会計	—	87,800	

※資金不足がないため「—」で表記

◎監査委員審査意見(要約)◎

日本経済は回復傾向にあると言われているが、失業率はいまだに高く、雇用情勢の悪化が懸念されるなど、依然として厳しい状況にある。

本市でも、長引く景気低迷により、歳入の根拠となる市税収入の減少が続き、引き続き厳しい財政状況が継続することが予想される。

これらを踏まえ、社会経済情勢の変化に即応した、地方分権の時代にふさわしい、簡素で効率的な行政運営を継続していくことが、市当局・職員個々に求められている。

今後の財政運営にあたっては、税収入の確保、受益者負担の適正化を図るなど、財源確保を一層推し進め、より効果・効果的な財政運営の進展を望む。

にかほ市の財政状況は、すべての比率が健全段階なんじゃ！「財政状況」について詳しくは市ホームページを見るのじゃ。

